

# 特集 サマースクール in 福井 2009 レポート

～地引網と魚のさばき方体験にチャレンジ!

今回で22回目を迎えた、小・中学生のための自然体験スクール。小学1年生から5年生までの男の子3名、女の子4名の合計7名と一緒に、8月20日から22日までの2泊3日で福井県の若狭湾に行ってきました。今回は、東京からは1名、大阪・奈良から6名の参加です。ナビゲーターは、群馬県で合気道教室を主宰する杉本久さん(すぎさん)、マザーネットからは上田の合計2名です。それではご報告します!

## 1日目

- 8:05 東京駅に集合。りょうすけくん(小3)は、初参加です。引率のすぎさんと二人で、ひかり号に乗車します。
- 8:33 ひかり505号が出発。
- 8:45 新大阪駅に集合。大阪からの出発は、リピーターのみ。「ひさしぶり」「背がのびたね」など、ひさしぶりの再会を喜びあいます。
- 9:21 敦賀行の新快速電車に乗車。無事に乗ったと思ったら「この放送が聞こえている車両は、途中で切り離します」とのアナウンスが。次の高槻駅で、前の車両に乗り換えです。しかし、大きな荷物を持っているので、まおちゃん(小5)とあいちゃん(小1)がもう少して、乗り遅れそうに……。乗れてよかったです。

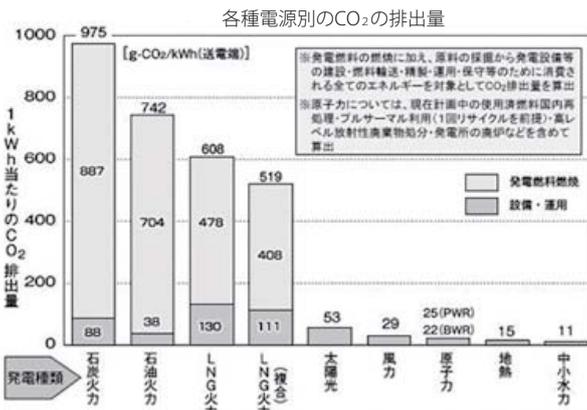


新快速電車の中にて

電車の中では、お菓子を食べたり、お互いが犬になってワンワン言いあったり、ウインタースクールから8ヶ月間の空白を埋めるように、コミュニケーションをしていました。子どもたちの会話を聞いていると、「どこの大学受けるの?」「東大にするん?」「そんなん、ムリやわー」など、小学生同士の会話とは思えず、びっくりです。

- 10:49 東京組、米原駅着。しらさぎ5号へ乗り換え。
- 11:15 大阪組、敦賀駅に到着。関西原子力懇談会の塩見さんが迎えてくれます。
- 11:28 東京組、敦賀駅に到着。全員そろったら、バスに乗車します。
- 12:00 昼食会場の「なかや」に到着。ここで、オリエンテーションを行います。「名前、住んでいるところ、学校の名前、学年、好きな食べ物」を発表します。みんなの前で発表するのは恥ずかしいですが、とても良い経験ですね。

13:30 関西電力美浜発電所PR館へ。途中、水晶浜などの海水浴場を通りますが、海の水がとても美しく、透明に輝いています。PR館では、美浜発電所についての説明を、子どもたちにもわかるようにしてもらいました。なぜ、美浜に原子力発電所が出来たのか、ということも教えていただきました。①海の水をたくさん使うから②硬くて、丈夫な岩の上であり、地震が来ても大丈夫③広い敷地があったから、とのことでした。説明後は、美浜原子力発電所の構内を見学。海水を使って蒸気を冷やしますが、海水の出口には、大きな魚がいっぱいきていました。説明後は、質疑応答の時間を取りました。「絶対、風力発電の方がいい!」や「石炭でいいやん!」という子どもも。理解を深めるため、各種電源別のCO2排出量の比較のグラフも説明してもらいました。関西に住んでいる子どもたちは、ここで作られた電気が



みんなの町にも送られて、テレビを見たり、電気がついたりしていることを、不思議に思っているようでした。

- 15:00 民宿「はた」に到着。すぐに着替えて、手の浦の海に出発です!海は誰もいなくて、貸し切りです。電気について勉強したからか、砂でダムを作り、「水力発電ごっこ」をしていました。
- 18:00 「はた」に戻り、お風呂の後、夕食。新鮮なおさしみが山盛りです。お肉の料理には、着火マンを使いますが、あいちゃん(小1)が自分で出来るよう、みんなで教えてあげます。



原子力発電所の見学に刺激され、水力発電所ごっこ

- 20:00 夕食後は、自由時間。お菓子パーティをしたり、ゆったりと過ごします。
- 22:00 就寝。

## 2日目

7:00 起床。みんな、すやすやと眠っています。

8:00 朝食。煮魚など、海の近くならではの食事が。「うちの母さんも、こんな朝ごはん作ってくれたらいいのに」という声。



民宿はたの前にて、全員集合!

9:00 歩いて300Mの手の浦海水浴場へ。今日も砂でダムを作ったり、お魚やきれいな貝を探したりして遊びました。昨日、沖に流れてしまったりりょうすけくんのビーチボールを、岩のそばで発見! 昨日の場所とはずいぶん離れていて「りょうすけ、見つかってよかったな!」とみんなで喜びました。

13:00 民宿にもどって、カレーライスの昼食。よく動き回ったので、おいしい!

14:00 午後は雨が降るので、民宿の中で過ごしました。まず、枕投げ! 2階の床が落ちそうなほどでした。

19:00 夕食。ほたてを焼いたものおいしくて、子どもたちに人気でした。お刺身に、カニ、エビフライ、煮魚など、どれも新鮮でおいしいです。



今日も引き続き、ダムを作ります!



浮き輪に女の子4人がつかまり、足のつかないところへ!



将棋で真剣勝負をする、すぎさんとみきちゃん

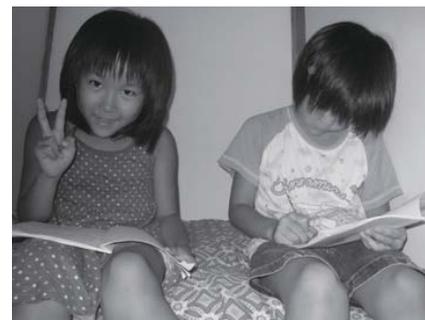
20:00 終わりの会。楽しかったことを発表してもらいました。「砂浜でダムを、残業して作ったこと」「枕投げ」「貝ひらい」「トイブードルと遊んだこと」「民宿のごはんがおいしかった」「お風呂で飛び込みしたこと」「りょうすけのビーチボールを見つけたこと」など、みんなで楽しかったことを振り返りました。

そして、お楽しみの「すぎさんのマジックショー」。「インチキ違うん?」と言いながら、一生懸命タネを探しています。その後は、ビンゴ大会。お気に入りの商品は、当たったかな?

22:00 お菓子パーティをして、いつのまにか眠りにつきました。



男子対女子の枕投げ大会。  
スクールの中で、もっとも燃えた瞬間かも



押入れの中に入り、今日の感想を書く  
あいちゃん(小1・左)とわっちゃん(小2・右)



すぎさんによるマジックショー。  
真剣な表情で見つめる子どもたち

## 3日目

7:00 起床。夜中はすく雨が降りましたが、ようやく上がり、良い天気になりました。

8:00 朝食。お部屋を片付けます。

9:45 お世話になった、民宿はたのお母さんにお礼を言い、バスにて名子へ。

10:00 地引網にチャレンジ。子どもたち7名だけでは網が上がらないので、地元の方々に手伝ってもらいました。地引網を引くのは、想像以上に力が入ります。力を合わせて、ようやく上がったきた網の中には、魚がいっぱい!大きな鯛が3匹、ワタリガニ、あじ、ベラ、キジハナ、ヒラメ、イカなど。漁師の方に、魚の名前を教えてくださいました。かずしくん(小5)が魚の名前をよく知っていて、「魚博士」と命名されました。

11:30 公民館にて、魚のさばき方教室。地元のお母さんが、うろこの取り方や、内臓の取り方などをやさしく教えてくださいました。鯛とイカは刺身、ワタリガニは味噌汁、あじ



みんなで力を合わせても、なかなか上がらない!



想像以上の大漁!大きな鯛が3匹も!



東京から参加のりょうすけくんも大満足



地元のお母さんに、さばき方を丁寧に教えてもらって



子どもたちのさばいた鯛の刺身の盛り合わせ

とベラは唐揚げにしました。鯛の皮の湯引きときゅうりの酢味噌和えもおいしかった!

13:30 ボランティアガイドのおじいさんと一緒に、旧敦賀港駅舎、気比神宮などをまわります。

14:30 小牧かまぼこの工場にて、焼くわ作り体験。棒にすり身を巻きつけるのですが、単純なようで、意外と難しいのです。



簡単そうで、難しかった焼きちくわ作り

自分で作った焼きたてのちくわは、最高です!最後に、日本海さかな街と地元の和菓子屋さんにて、お母さんやお友達へのおみやげを購入しました。

16:30 敦賀駅着。東京組のりょうすけくと別れを告げます。今回は、りょうすけくに大阪弁はうつらず、大阪のみんなが、標準語になってしまいました。

17:10 東京組、敦賀駅を出発。しらさぎ62号に乗車。

17:44 米原にて、ひかり526号に乗り換え。

17:49 大阪組、敦賀駅を出発。新快速に乗車です。電車の中で、小牧かまぼこでいただいたアンパンマンのかまぼこを食べました。

20:08 新大阪駅着。取った魚を、お母さんたちに渡しました。さばき方は自分で覚えたから、大丈夫だと思います。

20:10 東京駅着。お疲れさまでした!

いかがでしたでしょうか?今回、サマースクールでは初めて海での体験をしました。海辺で遊ぶのはもちろん楽しかったですが、3日目の地引網で魚を取り、その魚をさばいて、自分たちで食べるという体験に、子どもたちの目はキラキラしていました。特に、魚のさばき方教室では、「ママは絶対できないから、自分たちが覚えてなくては、釣った魚を家で食べることはできない!」という強い気持ちが、やる気につながっていたようです。地元のお母さんたちも、「包丁あぶないから!」とは言わず、子どもたちに自由にやらせてくれました。本当に子どもたちだけで調理をしたので、達成感のものであり、誇らしげでした。家族で行くのと違い、親がいないところで、みんなで譲り合ったり、自分より小さい子どもへさりげなくサポートしながら、みんなで完成させる、という体験が、仲間何かを成し遂げる喜びにつながったと思います。次回は、12月25日から28日まで、信州での開催を予定しています。スキーやスノーボードではない、冬ならではの楽しい体験を企画したいと思っています(上田)。